



フェデレーションの有用性の構成

このセクションでは、フェデレーションの有用性構成について説明します。

- [フェデレーションのロギングの使用 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco XCP ルータの再起動方法 \(2 ページ\)](#)

フェデレーションのロギングの使用

このセクションでは、フェデレーションでのロギングの使用について説明します。

SIP フェデレーションのログ ファイルの場所

SIP フェデレーションには、次のログファイルが適用されます。

- /var/log/active/epas/trace/xcp/log にある sip-cm-3_0000000X.log
- /var/log/active/epas/trace/esp/sdi にある esp00000000X.log

これらのログは RTMT からキャプチャすることもできます。

XMPP フェデレーションのログ ファイルの場所

次のログファイルが XMPP フェデレーションに適用されます。

- /var/log/active/epas/trace/xcp/log にある xmpp-cm-4_0000000X.log

RTMT からログをキャプチャすることもできます。

フェデレーションのロギングをオンにする

ステップ 1 Cisco Unified IM and Presence Serviceability のユーザー インターフェイスにログインします。[トレース (Trace)]>[設定 (Configuration)] を選択します。

- ステップ2 [サーバー]ドロップダウンリストボックスから、IM and Presence サーバーを選択して、**[移動 (Go)]**をクリックします
- ステップ3 [サービスグループ]リストボックスで、**[IM and Presence Services]**を選択して、**[移動 (Go)]**をクリックします。
- ステップ4 次のいずれかの手順を実行します。
- SIP フェデレーションの場合は、[サービス (Service)]ドロップダウンリストから [Cisco XCP SIP Federation Connection Manager サービス]を選択し、**[移動 (Go)]**をクリックします。
 - XMPP フェデレーションの場合は、[サービス (Service)]ドロップダウンリストから [Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager サービス]を選択し、**[移動 (Go)]**をクリックします。
- ステップ5 [トレースをオンにする (Trace On)]をクリックします。
- [トレースフィルタ設定 (Trace Filter Settings)]で [デバッグトレースレベル (Debug Trace Level)]を選択します。トレースでデバッグレベルを有効にする場合は、[デバッグトレースレベル (Debug Trace Level)]で [デバッグ (Debug)]を選択します。

Cisco XCP ルータの再起動方法

ここでは、Cisco XCP ルータの再起動方法について説明します。

Cisco XCP Router

SIP または XMPP フェデレーション設定の設定を変更した場合は、IM and Presence Service で Cisco XCP ルータを再起動する必要があります。Cisco XCP ルータを再起動すると、IM and Presence Service によりすべてのアクティブな XCP サービスが自動的に再起動されます。

Cisco XCP ルータは、停止して再開するのではなく、再起動する必要があります。Cisco XCP Router を再起動するのではなくオフにした場合、IM and Presence Service により他のすべての XCP サービスが停止されます。その後で XCP ルータを起動しても、IM and Presence Service は他の XCP サービスを自動的に起動しません。手動で他の XCP サービスを起動する必要があります。

Cisco XCP ルータの再起動

- ステップ1 **Cisco Unified IM and Presence Serviceability** のユーザインターフェイスにログインします。[ツール (Tools)]>[コントロールセンター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services)]を選択します。
- ステップ2 [サーバ (Server)]ドロップダウンリストからサーバを選択します。
- ステップ3 [移動 (Go)]をクリックします。
- ステップ4 [IM and Presence サービス (IM and Presence Service)]エリアで、[Cisco XCP ルータ (Cisco XCP Router)]サービスの横にあるオプションボタンをクリックします。

ステップ 5 [再起動 (Restart)] をクリックします。

ステップ 6 リスタートに時間がかかることを示すメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。